



インディアナ日本語学校便り

学校教育目標 自ら学び、正しく行動する国際性豊かな児童生徒の育成

日本伝統文化体験 幼稚部 お正月の遊び カルタ大会 コマ回し 1月7日



ぜったい、とるぞ



負けないぞ

よくまわるでしょ



見つけたわ

幼稚部小学部 1年生授業見学 1月21日 赤白帽子 園児



落語の特別授業（落語子供体験会）を受けて 5年1組

飯田 怜

ぼくは、今まで落語を少しだけ見たことがありました。だけど、手ぬぐいやせんすなどをふったりしていても、何をしているのかよく分かりませんでした。今回、ぼくが 落語の授業で面白いと思ったことは三つあります。

まず一つ目は、落語には落ちの種類がたくさんあるところです。例えば、仕込み落ちや考え落ちなど、他にもあと十種類以上もの落ちがあり、とてもおもしろいと思いました。

次におもしろいと思ったところは、せんすと手ぬぐいだけで、たくさんの物を表現しているところです。ぼくがやったら、表現が下手で、見ている人は「この人は何をしているのだろう。」となるのに、そうならないのがすごいと思いました。

三つ目は、一人でたくさんの人を演じているところです。例えば、表じょうを変えたり、声をかえたりしているところが面白いと思いました。なぜかという、ぼくだったら、すぐに声を変えることはできないし、同じような声になってしまうからです。一人で色んな人が本当に会話しているように感じさせることができるのはすごいと思いました。

授業を受けて、落語がとてもおもしろかったので、もっと色々な種類の落語を見てみたいと思いました。

熊谷 咲那

今まで、落語は、わたしにはまだむずかしいと思っていたけれど、落語は想像力で見ることができると知って、とてもおどろきました。そもそも、わたしは落語に興味がなかったので、この授業を受けて、落語に興味を持つことができました。

落語はてぬぐいとせんすの二つの道具を使い、所作でいろいろなことをするというのを知っていたのですが、授業でやってみて、むずかしいなと思いました。また、落語家の人は、一人でたくさんの人を演じるときに、自分の向く方向を変えたり、声をかえたりして、たくさんの人を演じわけるということにびっくりしました。落語の所作で、飲む、食べるなどの音を口で出しているところがすごいと思いました。戸をたたく時の音を、せんすで床をたたいて出すこともありました。

実際、落語を見ていると、とても面白かったので、もっとたくさんのお話をききたいと思いました。

安藤 歌耶

私は日本にいたとき、おじいちゃんとおばあちゃんがテレビで落語をみているのを見ました。初めてみたとき、私は興味がありませんでした。今回、授業でビデオを見て、ざぶとんに正座をして、手元にはせんすと手ぬぐいしかおいていないのに、声の調子や顔の表情と向きで登場人物をいっぱい作って、一人で全部やっているのはおどろきました。そして、楽しいし、笑えるお話をすることも知りませんでした。私は、授業のときに見たお話の中で、おぼけが皿を数えるお話が好きでした。始めは、村人たちが町へ来て、おぼけがお皿を数えて九まいになる前に走って帰るというのを毎日くり返していたら、ある日、おぼけがお皿を十八まいまで数えていたのがおもしろかったです。私は今度、日本に帰ったら、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に落語のお話をテレビで見たいです。

花野 瑛都

ぼくは、落語はすごいことだと思いました。なぜなら、落語は、本当の物をつかわないで、手ぬぐいとせんすだけで話をするからです。

落語は、一人の人がざぶとんに座ってお話をします。落語家に階級があることも知らなかったし、二つの道具だけで、お話をつくるということはすごいと思います。落語でそばを食べているときの表現の音は、本当にそばを食べているような音でした。授業でやってみましたが、その音はどうやっても出せませんでした。今回見た落語は、とてもおもしろい物語で笑ってしまいました。

このように、落語の動画をみてすごいと思ったことは、二つの道具で話をつくることと、口や顔で表す表現です。落語の仕草の動画で、あまりにも本当にそばを食べているようだったので、ぼくはそばが食べたいと思ってしまいました。

山口 帝臥

ぼくは、落語の授業の前、「落語とはなんだろう？」と思っていました。だけど、色々な動画を見ていくと、落語がすこしずつどういものなのかが分かってきました。特に、むかし話の「はなさかじいさん」が落語になると、「はなさんか、じいさん」という言葉は似ていても、まったく別のお話になっていたところがおもしろくて、他の昔話を落語にしたものも調べてみたいと思いました。落語以外にも日本にはたくさん伝統芸能があるそうです。歌ぶきや能についても調べたいと思いました。最初、落語は難しいものだと思っていましたが、小さな子どもから大人まで楽しめる伝統芸能が落語なんじゃないかというふうに思うようになりました。

阿部 圭寿

落語の動画を見る機会をありがとうございました。落語のおもしろいところなどを「落ち」というのを始めてしました。ぼくはよく笑点を見ていて、落語家がせんすなどを使っていたり、仕草など色々をまねしたりしているのはわかっていたのですが、せんすと手ぬぐいだけをつかっているというのは初めて知りました。落語を見るのが久しぶりだったので、授業ではすごく楽しみながら見ることができました。色々な仕草をしていた動画で、そばを食べている仕草をしていたのをみんなでもねしてみたんですが、落語家さんたちと比べて、あまりいい音が出せず、すごくむずかしかったです。また、自分の身体全体を使って、色々な仕草をする動画で良いお酒を飲んだ時とまずいお酒を飲んでいる時のちがいがすごく差があり、面白かったです。良い、おいしいお酒を飲んでいるときの顔は、すごく良い顔をしていたのですが、まずいお酒を飲んでいるときの顔は変な顔をしていて、まずいのに、おいしいぞ、という感じをだそうとしていて楽しかったです。ぼくも、どっちもやってみましたが、やはりできませんでした。ぼくが日本に帰ったら、落語を見に行きたいと思います。



グランドホッグデー 2月2日

毎年2月2日、ペンシルベニア州の住人たちは、朝早くから、かわいいお天気占い師グラウンドホッグ(リス)を一目見るために、こぞって集まってきます。この日、冬眠から目覚めたグラウンドホッグがどのような行動をとるかで、それから先の天気が分かるという伝説があるのです。グラウンドホッグが巣穴から出てきたときに自分の影を見て驚いて巣穴に戻ったら、その先さらに6週間冬が続き、影を見ずに外にとどまっていたら、春の到来が近いとされています。



シルクハットをかぶって正装している地域のクラブの人々が、お告げを伝えるために小屋から出てきたグラウンドホッグを取り囲んで喜んでいるところです。グラウンドホッグによるお天気占いは、1887年に小さな集会として始まりましたが、現在では1万人を超える人々が集まり、ジャーナリストも参加します。

Twitter、Facebook、ブログやウェブニュースなど、あらゆるメディアから注目されています。このように、グランドホッグデーは多くの人が楽しんでいる行事です。

地球の課題を自分の事として、考える

現在世界で、ペットボトルやレジ袋など、さまざまなプラスチック製品から発生するゴミが増加しています。そのうち年間 800 万トン以上のプラスチックゴミが投棄や埋め立て地から海に流出しています。そのため、海の環境問題が深刻化し、大きな国際問題となっています。

「マイクロプラスチック」

海に遊びに行くと砂浜を散歩すると、流木や海藻などにまじって、たくさんのゴミが打ちあげられています。砂浜に打ちあげられたプラスチックゴミは、太陽の光にあたり、砂にもまれたりして、小さく砕けていきます。直径 5 ミリ以下の小さな破片になったプラスチックは、「マイクロプラスチック」とよばれ、波をかぶって再度海の沖に出ていきます。流木や海藻なら、微生物などの働きでやがては分解され、二酸化炭素や水などに戻っていきます。ですが、プラスチックはいくら小さくなくても、分解してなくなることは



はありません。しかも、えさと間違えた魚や海鳥や亀などがまちがって飲み込んで死んだり、アザラシが口にプラスチックの輪がはまり死んでしまったりしています。またタイの海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からは、レジ袋約 80 個や 30 キログラムものプラスチックゴミが見つかったニュースが報じられ、世界に大きな衝撃を与えました。このように被害が広がり、多くの生き物の命が危険にさらされています。



海岸のプラスチックゴミ

海をただようプラスチックゴミを減らすために、レジ袋の生産を禁止したり、使用時に課金したりするなどして何らかの規制の策を導入している国・地域は 67 を数えます。フランスは使い捨てプラ容器を禁止する事になっています。ハワイでも、レジ袋の生産や使用を禁止しています。アフリカでも、ルワンダやケニアはプラスチック製レジ袋の生産、消費、輸入を禁止し、特にケニアでは世界で最も厳しい法的な禁止をしました。市場やお店の人がポリ袋を使用して売ること、消費者がポリ袋を使用して買い物をすることが法律で禁止されたのです。市場で違反した場合、最高 4 年の牢屋に入れられる刑か約 440 万円の罰金が科され、多くの人逮捕されたそうです。また、イタリアやインドでは自然環境の中で分解しやすい生物素材以外のレジ袋の使用を禁止しています。日本でも、レジ袋が有料になり、エコバックの活用などで減らすことに取り組んでいます。また、砂浜のプラスチックゴミをボランティアの人たちが拾ったり、海をただようゴミを船で集めたりしています。

私たちは、レジ袋やペットボトルなどの便利な生活を支えるプラスチック容器と、深刻な海のプラスチックゴミ問題の関係について、これからも考えていかなければなりません。



例えば①自然に分解されるレジ袋に代えていく。②再利用方法として、固形ペレットとして燃料に使う。③袋の代わりのエコバッグ。ストローを使わない。プラスチックのお皿やコップを自然のものに換える。④毎年 3 億トン生産されるプラスチック製品を減らしていく。⑤海洋にただようプラスチックの回収方法を工夫する等です。

分別をきちんと行っている日本に住んでいる時と比べ、アメリカのたくさんのレジ袋の使用やゴミの捨て方を経験していると、問題の解決は遠いことのように感じてしまいます。社会が大きく変化していくこれからの時代に、みなさんが社会の問題がわかり、自分のこととして考え、社会にかかわれるように成長してほしいと願います。

アメリカと日本の違いーゴミ捨てー 日本では、小学校の社会科で学習します。

アメリカでの家庭のゴミの出しの違いは、1つ目は“分別の仕方”、2つ目は“ゴミ出しの日”です。

1 “分別”の違いについて

日本では、ごみの細かい分別をしなければなりません。最初に、燃えるか・燃やせないかで分け、そこから資源・ビン缶・プラスチック・有害などと分かれ、そこからまた細かく分かれていきます。例えば、ペットボトルは本体、次に本体にはられているプラスチックのフィルム、そしてキャップと3個に分けます。資源だと衣類・牛乳パック・雑誌・新聞紙・ダンボール・びん・缶と分かります。

一方アメリカは、リサイクル・一般ゴミ・葉などをいれるオーガニックゴミの3つに分別しています。リサイクルは、缶・ビン・ダンボール・紙というように分けたりしません。リサイクルできるものは全て一緒に出します。このような違いが出てしまうのは根本にある考え方の違いにあります。アメリカの根本にある考え方は「燃えるか・燃やせないか」ではなく、「リサイクル出来るか・出来ないか」なのです。リサイクル出来ないものは全てゴミ(garbage)とみなされます。つまり、紙もペットボトルも缶もダンボールも、リサイクルできるものは全て同じゴミ箱に入れてよいのです。

2 “ゴミ出しの日”

日本では燃えるゴミ・燃えないゴミ・資源・燃やせないゴミ・有害・粗大そだいと種類によって曜日が決まっています、家から少し歩いて指定のゴミステーションへ持って行って出します。燃えるゴミが月曜・木曜、資源は第一週の火曜などというように分かれています。

一方、アメリカでは自宅ごとにゴミ捨て用のゴミボックスがあります。一週間に一回ゴミ箱を家の前の道路に出します。また朝ではなく、夜に出しておきます。アパートやカレッジの寮など集合施設の場合には、24時間いつでもゴミを捨てられる大きいゴミ用のコンテナがあります。そこに、夜中でも関係なくゴミを捨てることができます。また、その分別を厳しく取り締まっているわけでもないので、資源ゴミなのに分別するのが面倒くさい人が、分別もせずにそのままポイッと普通のゴミにまとめて入れてしまったりすることもよくあります。

アメリカでは、週に1回、多くても2回ぐらいしかゴミ収集車が来ません！良い点は、ゴミ収集車を何回も運転



校長先生の家の周り(金曜日)

してゴミを集めに来なくて良いので、ガソリンなどの節約や、ゴミ収集車にかかる経費を減らすためかもしれません。

以上、アメリカ式のゴミ出しのほうが楽で良いという人も多いかもしれません。その一方で、アメリカから日本へ来た人の中には、分別というものに賛成という人も多いようです。なんでも一緒に捨ててしまうのは良くない、アメリカも細かく分別すべきという人もいます。みなさんは、どのように感じますか。

3 自分が今捨てるゴミは、どこへ行くのだろう？

廃棄はいきする方法もアメリカと日本では違います！日本では集められたゴミはほとんど焼却炉しょうきやくろで焼却する方法をとっています。日本の焼却炉の数は、世界でもずばぬけて多いです！そのため、焼却炉や焼却に使う費用も他の国に比べてかなりかかっているといえます。なぜ、焼却方法を取るのかというと、日本は土地がせまいためです。

アメリカは埋め立てが多い

逆にアメリカは、土地も広いはいきふつため廃棄物のほとんどをそのまま埋め立てという方法で処分しています。アメリカは広大な土地を持っているので、焼却という高い費用を使う選択せんたくをせず、ほとんどのゴミを埋め立てという方法で費用を減らして処分をしています。目の前の自分が出したごみ袋が、自分が帰国してもインディアナの土地の中に、このまま埋まるのかと思うと複雑な気持ちになります。インディアナポリスからをミシガン湖へ北上

する 31 号線の道の途中で土がかぶせて盛り上がっている埋め立て地を見ました。

(東京都も東京湾の埋め立て地に、1957 年(昭和 32 年)12 月から東京湾のゴミの埋め立てを始め、1967 年(昭和 42 年)にはゴミの埋め立てが終わりました。ハエが発生するなど近くの小学校に影響が出ました。当時これを「夢の島」と呼びました。)

4 アメリカの収集車のゴミの集め方にビックリ!



アメリカでは、週に 1 回各家の前に普通ゴミとリサイクルのゴミボックスが出されます。これを、人ではなくゴミ収集車からロボットアームのようなものが飛び出して、そのままゴミボックスをつかんで、逆さにして、ポイッとゴミ収集車の中に捨てます。こうして、一軒一軒のゴミを回収していきます。

アメリカのゴミを収集する方法も、収集車も日本と違い、いろいろなやり方があることがわかります。

みなさんは、昼は現地校に登校しているので、なかなか見ることができないと思います。

夏休みなどに、見たことがありますか。

5 アメリカも少しずつ変わる取組

米国環境保護庁によると、アメリカでは年 2 億 5,400 万 t のゴミが廃棄され、そのうちリサイクルされているのは 34.3%、焼却処分が 12.9%、埋め立てなど廃棄が 52.8%です。国土が広大な上、焼却による大気汚染を心配するアメリカでは、いまだに埋め立て処分が多いのですが、じょじょに土地の限界が見え始め、州によって取り組み方はそれぞれですが、焼却処分への切りかえ、リサイクル、生ゴミ堆肥化などにより、ゴミを減らしていこうとする州が増えています。

ニューヨーク市では、レジ袋に 5 セント課金することも決まりました。また、繊維製品や家電の回収を強化したり、学校や公営住宅でのゴミを減らしたりすることに力を入れています。

サンフランシスコは、生ゴミの戸別回収を行い、全小売・飲食店では自然では分解できないビニール製レジ袋の使用を禁止するなど、他都市に先がけて新たな取り組みを導入しています。また、同市のリサイクル施設には、世界各国から視察団が訪れています。リサイクル率は実際 60%程度と見られています。

シアトルは、現在リサイクル率が 60%、2025 年までに 70%を目指しています。一般ゴミや生ゴミは有料、資源ゴミは無料で回収しています。スーパーマーケットの売れ残り原料で作るジュースメーカーなど、新たなビジネスも生まれています。

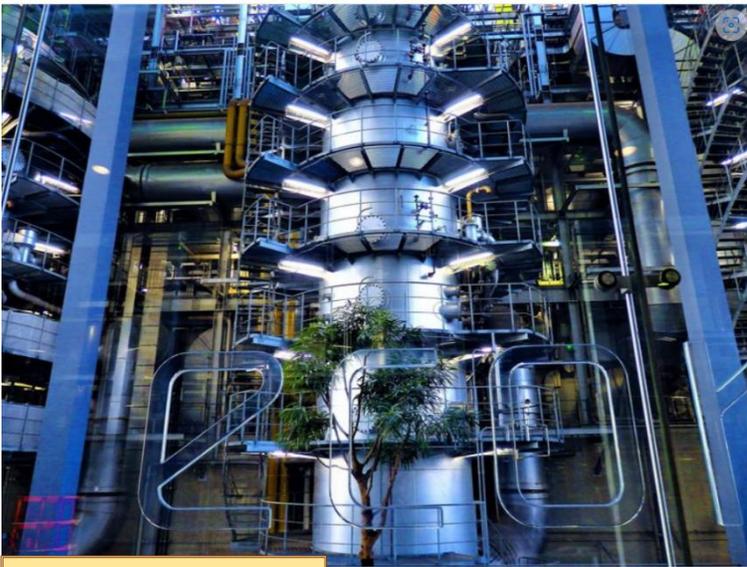
カリフォルニア州では、一般家庭から出るゴミの量の半分をリサイクルするよう、家庭から運ばれたゴミは分別施設で、数百人の人手によって、ガラスは色別に、プラスチックはリサイクルマークの番号ごとに、紙はそのタイプごとに選別されています。さらに、スーパーなど小売店でプラスチックのレジ袋が禁止となり、再利用可能なレジ袋が、有料で販売されるようになりました。レジ袋の有料化の動きは日本より後になりますが、これからの全米の流れです。



アメリカで生活をしてみて、現状を見ると道のりは遠く、時間がかかることと思います。みなさんは、地球がかかえている課題として、ゴミ捨てのルールを理解し、帰国後も正しく分けてリサイクルしていきましょう。また、エコバッグなどを持参する習慣をもつけましょう。

6 日本のごみ処理場

「エコリアム」は、まるで美術館のようなゴミ処理場



広島市環境局中工場エコリアム

めです。また、さらに燃やしながらかき混ぜ、燃やすところの温度が800℃以上で燃やせるようになったのです。これで、ダイオキシンが出なくなり、ごみ処理場の煙突にフィルターを通して煙は無色透明になり、煙は出なくなりました。

ごみの最後は灰にして、最終処分場の埋立地へ持って行きます。その埋立地が2041年にはもうなくなってしまうという問題があります。しかし、そこでこの灰を1300度以上で焼き、溶かして固めることで、道路のコンクリートに再利用できるように工夫しています。日本の技術はすごいですね。



燃やすときの熱は、発電に利用します。水蒸気にして、タービンを回し、電気に変えます。これは、現在全国で37か所あります。広島処理場は、ゴミを電気に変えて、電気を売って、4億円以上になるそうです。

普通のごみ処理場でも、熱を利用して温水プールやお湯にしています。

日本に住んでいるとき、日本のごみの分別のやり方も、慣れたら当たり前のことになりました。だから、日本人はアメリカに住んでみて、「ごみの捨て方はこれでいいのかな?」と疑問に思ったり、心配したりするようになるのですね。

アメリカのリサイクル業界は、州や企業が一生懸命に資源ゴミを回収しても、リサイクルしたものが売れなければ、仕組みを続けていくことができなくなります。

大量生産、大量消費文化のアメリカですが、エコロジーやリサイクル意識の高まりから、地域ごとにゴミ分別のルールが設けられ始めています。

なぜ、このようなことをするのでしょうか?

燃やす炉の温度は300~400℃で燃やすと、ダイオキシン(有害なガス)が発生していました。それを800℃以上で焼くと、ダイオキシンが発生しないことがわかりました。そこで、炉の中の燃える温度を上げるために、生ごみから出る水分のムラがないように乾かすために、ごみの上と下を入れ替える際に、水分をまんべんなく他のごみに吸い取らせるた

インパクト賞 「日本とアメリカ、家庭ゴミ分別の違い」

高等部 1 年生 大狭間 暖

私は日本とアメリカではごみの処理方法が違うということに気が付きました。アメリカはごみの分別がゴミかリサイクルの二択。しかし、日本では燃やせるゴミ、プラスチック、不燃ゴミ、リサイクル、粗大ゴミになります。他にも回収頻度の違いやゴミを出す場所など違いがあります。

主な違いはゴミの分別が日本の方が細かいということです。では、なぜ日本の分別は細かいのでしょうか。またアメリカでは分別をしなくても大丈夫なのでしょうか？

日本に関しては土地が狭いことが一番の理由です。そのため日本は焼却方法で処理します。そのため細かく分別する必要があるのです。一方アメリカでは土地が広いことを活かして埋め立てという方法で処分しています。そのため日本より費用を削減することが出来ます。

このように日本とアメリカではゴミの処理方法が異なります。私はアメリカの方が楽でいいかなと思います。日本のように細かく分別して処理するのもしリサイクルには適した作業だと思います。

【お知らせ〈予定〉】

- 2月25日 ○中学部期末テスト
- 3月18日 ○卒業・卒園の行事 ○修了日
- 4月15日 ○入学・入園の行事 ○始業日

〈ノート販売〉 保護者の会より

3月18日 なし 4月15日 有り

配布物 なし



アメリカの子どもに大人気! ごみ収集車
のおもちゃ (スーパーマーケット)